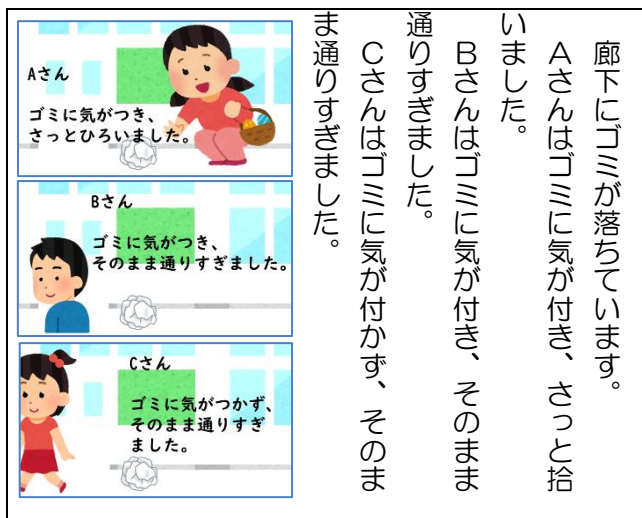


真誠

学校だより
No.4
西東京市立
田無小学校
令和4年
6月30日

気づき、行動できる人になるには

副校長 西村 太吾



廊下にゴミが落ちています。

Aさんはゴミに気が付き、さっと拾いました。

Bさんはゴミに気が付き、そのまま通りすぎました。

Cさんはゴミに気が付かず、そのまま通りすぎました。

最も良い行動をしているのはAさんだというのはすぐに分かります。では、二番目に良いのはBさんとCさんのどちらでしょうか。

色々な考え方があってと思いますが、私が二番目に良いと思うのは、Bさんです。

Cさんは気付くことができないので、ゴミを拾うことができません。気付けないというのはとてもまずいことなのです。

一方、Bさんは、気付くことはできたのです。気付いたら、拾うチャンスが生まれます。

だから、二番目によいのはBさんだと考えるのです。

児童の皆さんにも、まずは気付ける人になってほしいと思います。気付けるようになったら、次は行動できる人になってほしいのです。

「自分はゴミが落ちていることに気付けるだろうか。」

こんな風に心配する人がいると思います。気付ける人になるというのは、難しいことかもしれません。「気付こうね。」と励ますだけではなかなかうまくいかないものです。

それでは、どのようにすると「気づき、行動できる子」になるのでしょうか。

私が担任をしていた頃、児童が帰った後、必ず教室の整頓をしました。児童が音楽室や図工室に行っている間にも机を並べ直しました。それは、机がきれいにそろっている状態を「当たり前」にしたいなと思ったからです。

机がそろっている状態が当たり前だと、ばらばらに乱れた時に、「あ、いつもと違うな。」「そろっていないと何となく嫌だな。」と感じるのではないかと考えました。「当たり前前の状態がいいな。」と思えば、自分で机を整頓したくなるだろう、そんな子が現れるといいなと思ったのです。

そして、そんな整った教室にゴミが落ちていたら…。きつとすぐに気付くはず。ゴミが落ちているのが「嫌だな」と感じるはず。さっと拾ってしまはずです。

児童が「気づき、行動できる人」になるために、私は教室の机をそろえ続けました。

これでうまくいったかという…。そんな簡単なものではありませんでした。机はなかなか整頓されなかったし、落ちていたゴミを進んで拾えるようになった子も数名でした。これは一朝一夕にできることではないというのが、私の感想です。

それでも、これを繰り返してきたおかげで私自身が「気づき、行動できる大人」になってきたなと思っています。今でも、校舎内を巡回しながら廊下フックの体育着や上履き袋が落ちていないのを見ると、さっと拾って掛けてあげたいのです。

七月の主な行事予定

21	20	19	18	14	13	12	11	7	5	4	1	七月の主な行事予定
木	水	火	月	木	水	火	月	木	火	月	金	
夏季休業日始	水泳指導終	終業式 午前授業 水泳指導終	午前授業 着衣泳(4・5)給食(終)	海の日	水曜時程 五時間授業	避難訓練	保護者会(3・4・わ)	保護者会(5・6)	水曜時程 五時間授業	クラブ	安全指導 水曜時程 五時間授業	

※今月のスクールカウンセラー来校日は 1日、8日、15日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日の AM9:00~9:20 に 463-5902 (相談室直通) または学校に連絡してください。

通知表について

教務主任 石井 康介

「もう少し」の数が減った！やったあ！」「成績が落ちた…悲しい！」子供たちは、通知表をもらうと、結果に一喜一憂してしまうことがあります。しかし、大切なことは、自分にはどんな力が身に付いているかが課題なのかを把握すること、どうすれば課題が解決できるのかを考えることです。学校では、各担任が、書かれている内容を説明しながら通知表を渡しています。どうぞ保護者の皆様も、通知表をお子様と一緒にご覧いただき、これからの過ごし方を考えるよい機会としていただきたいと思います。

子供たちにとって、褒められることは大きな喜びであり、次の意欲へとつながる大切な経験となります。通知表をご覧になった際には、一学期の頑張りを認め、大いに褒めてあげることも忘れないでください。私たち教師も数値だけではなく、そこに至る努力を見取り、限られた字数ではありますが、一学期の頑張りや丁寧な努力を伝えます。よろしくお願いいたします。

通知表は、外表紙のみ回収いたします。

中身・・・ご家庭で保管 **外表紙**・・・学校へ提出

保護者会について

保護者会は、保護者の皆様と顔を合わせて直接お話しできる大切な機会です。各学期の学年・学級の様子をお知らせしたり、ご家庭での様子を伺ったりし、子供たちの成長について共通理解を図る場です。今年度は、一学期・二学期に各一回、三学期に一回保護者会を予定しております。二学期当初は、参観保護者会です。五校時の授業を公開し、その後、保護者会を実施予定です。六年生は移動教室についてもお話しします。詳細は学年だよりの等々を確認してください。

遠足に行ってきました

五年担任 山口 真理

五年生は、六月十日(金)に遠足に行ってきました。お天気が心配でしたが、ちょうど良い気候の中、日和田山と巾着田の自然を満喫することができました。山登りでは、友達と声をかけ合って励まし合いながら登りました。

また、足元が滑りやすい所では、友達に手を差し伸べて助けてあげる素敵な姿も見られました。一生懸命登った後の景色と、美味しいお弁当に、にこにこの子供たちでした。



登下校の仕方について

生活指導主任 金子 嘉良

「交通事故にあわないようにする」「道路はみんなのものなので、ルールとマナーを守る」ということから以下の点を各学級で指導しました。

○交差点では、青信号であっても、運転手とアイコンタクトをとってから渡ること。

○見通しの悪い場所では必ず一旦立ち止まり、絶対に飛び出さないこと。
○自転車で行く際は、見通しの悪い場所では危険予測をしながら走行すること。

交通事故を百パーセント防ぐことはできませんが、百パーセントに近づくように学校では、指導を進めてまいります。ご家庭でも登下校の仕方について話し合ってみてください。